

授業改善のポイント 第6学年

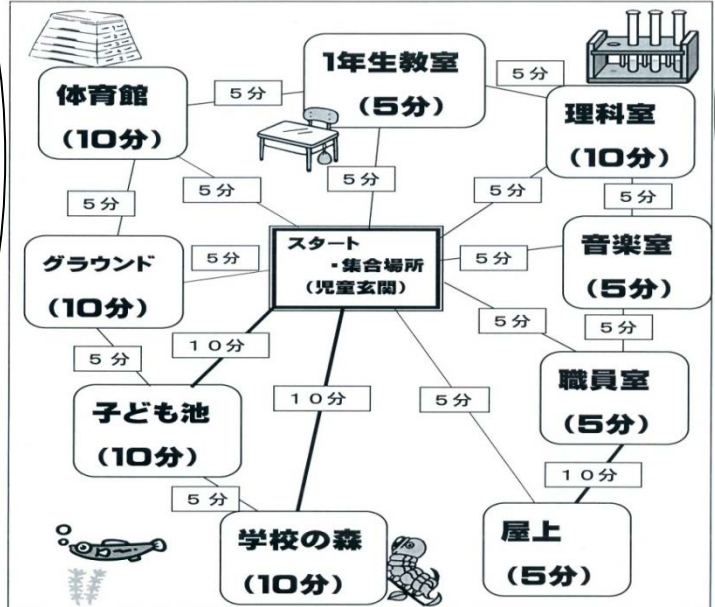
目的や意図に応じて書く事柄を収集し、整理する力を付ける

何の情報を伝える資料なのかをとらえる。

資料の「タイトル」や「項目」を見ると伝えたい情報がわかります。

場所	特ちょうや良さ
1年生教室	来年初める方の「引き出し」のある机や黒板、チョークなど、保育園や幼稚園にないものがたくさんある。
理科室	実験用具や使い方の掲示がある。めずらしい標本や人体模型もあり、許可があれば見ることができる。
音楽室	大きなグランドピアノや様々な楽器があり、試しに触ることができる。音楽会の練習をする場所。有名な音楽家の絵もずらりと飾ってある。
職員室	先生方のいる部屋。どんな先生がいるのか、何人くらい先生がいるのか見せてあげることができる。
屋上	ながめのよい場所。学校や私たちの町だけでなく、遠くの家や川もよく見える。
子ども池	グラウンドのわきにつくられた小さな池。ザリガニや小さな魚をつかまえることもできる。池のほとりに生えている草で草遊びができる。晴れた日は、水面がきれい。
学校の森	学校付近に昔から生えている木々と同じ種類の木を植えてある森。大きな木がたくさんある。虫などの生き物もたくさんいて人気がある場所。
グラウンド	広いグラウンド。運動場の横には、ブランコやジャングリズム、すべり台などの遊具もある。休み時間になるとそれらの遊具で遊ぶ子どもでいっぱいになる。
体育館	保育園や幼稚園よりぐっと広い体育館。バスケットゴールはもちろん、発表をするステージがあり、一輪車やフラフープもある。休み時間になるとそれらの遊具で遊ぶ子どもでいっぱいになる。

資料① 体験見学場所としての特ちょうや良さ



資料② 行くことができるコース

キーワードからコースを分類する。

「特ちょうやよさ」からキーワードを探し、「自分の経験や知識」も踏まえて「提案したいコース」を設定します。

<体験・見学場所>	< 文中のキーワード >	< 考えられるコースの例 >
1年生教室	保育園や幼稚園にないものがたくさん	学習わくわくコース
理科室	めずらしい標本や人体模型	学習わくわくコース
音楽室	楽器があり、試しにさわることができる 有名な音楽家の絵	学習わくわくコース
屋上	ながめのよい場所。遠くの家や川もよく見える	おすすめの景色コース
子ども池	ザリガニや小さな魚をつかまえることができる 草遊びができる 晴れた日は、水面がきれい	おすすめ遊びコース
		学校行事紹介コース
		おすすめの景色コース
グラウンド	広いグラウンド ブランコやジャングリズム、すべり台などの遊具もある	体を動かそうコース
		学習わくわくコース
		おすすめ遊びコース
		学校行事紹介コース
		体を動かそうコース

「特ちょうやよさ」だけでなく、「【話し合い】の内容」の中にも提案したいコースに関連したキーワードがあることに気付かせます。



【鈴木】わたしは、「体を動かすコース」を提案します。(中略) おゆうぎ室より広い体育館で実際におにっこをしてみたり、学校の名物の池に行って、とびこし遊びをしてみたりするコースです。

相手意識と目的意識
を明確にもつ。

【話し合い】の中に、相手意識や目的意識をもつための鍵となる文があります。これは自分の理由付けにつながります。

【話し合い】の内容

司会者 これから来年一年生になる園児のみなさんに学校の案内をする計画について話し合います。【資料】を見て、一時間で回ることのできるコースを考えま

鈴木 わたしは、「体を動かそうコース」を提案します。体を動かすのは、小さい子にとつて楽しいと思うからです。おゆぎ室より広い体育館で実際におにごっこをしてみたり、学校の名物の池に行つて、とびこし遊びをしてみたりするコースです。こうして、今までの遊びとなるべく近い体験ができれば、不安がへると思います。それに、いっしょに遊んで楽しい気持ちになつてもらいたいと思つています。

田中 わたしも鈴木さんと同じ理由で「体を動かそうコース」にしたのですが、不安なことがあります。体を動かすコースでは、けがや運動が苦手な子が参加できかねるなどの心配があり、迷つています。何かいい解決案はありませんか。

鈴木 確かに心配ですね。わたしたちなら、どんな遊びが好きか、事前にその園に聞いてから、招待する園児が慣れている遊びを計画してあげようと思います。いつもやっている遊びなら安心して参加できると思います。計画を立てるときは、注意点として、考えてみてはどうでしょうか。

相手意識 (鈴木と田中のやり取りを指す)

目的意識 (司会者の発言を指す)

書き手は「相手意識」や「目的意識」をもって「始め」の理由部分を書き表しましょう。



始め



私は、新一年生を案内するコースに、「おすすめ遊びコース」を考えました。理由は、幼稚園や保育園にも同じ遊具があり、小学校でもどんな遊びができるかわかったら不安がなくなつて期待がくくらむと思うからです。

「なぜ園児に学校案内をするのか」が明確になっているね。



〈考えたコースとその理由〉

「コースを考えた理由」になっていないのではないかな…。

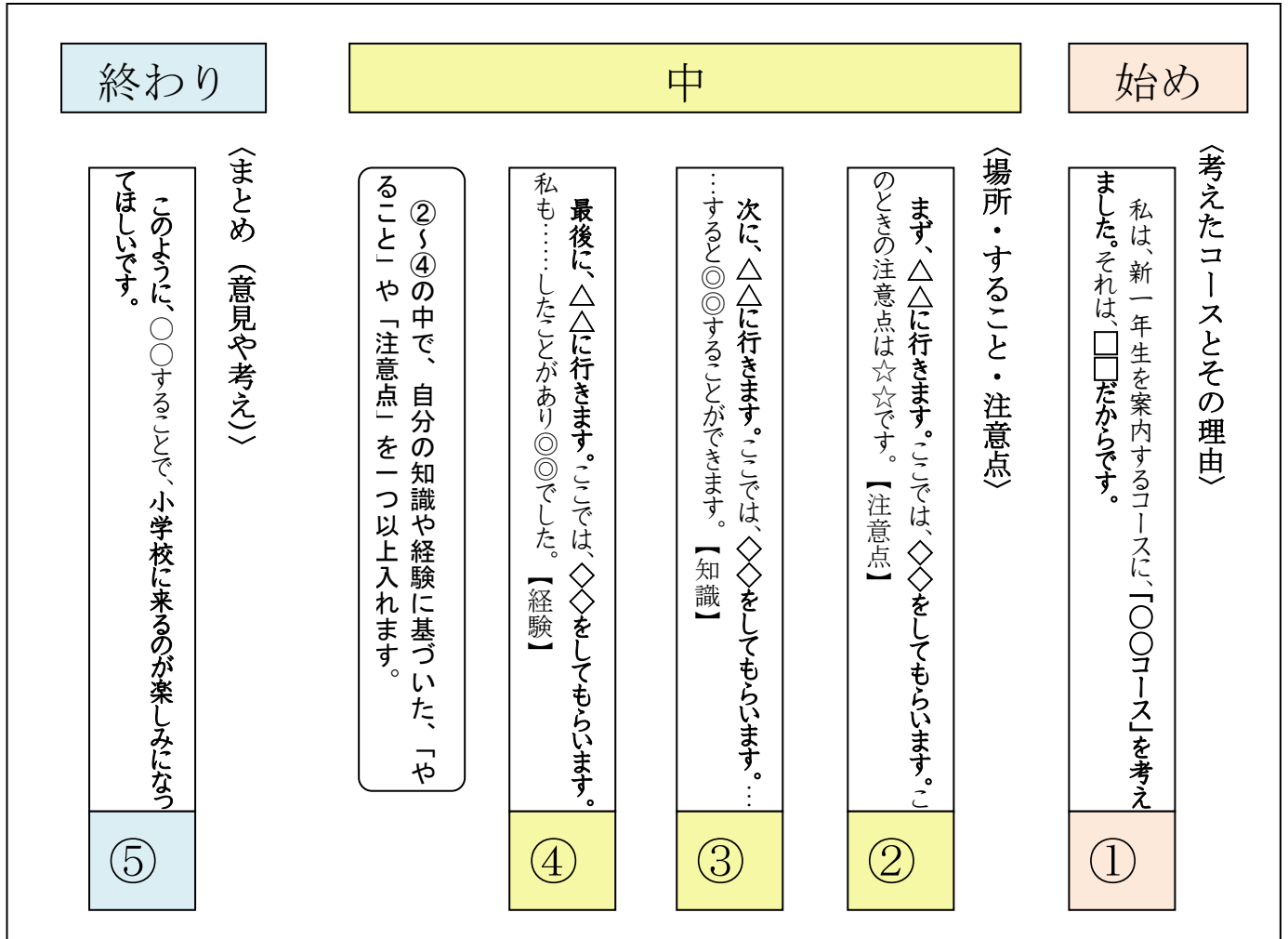


私は、新一年生を案内するコースに、「おすすめ遊びコース」を考えました。理由は、幼稚園や保育園にも同じ遊具があるからです。

段落を構成する力を付ける

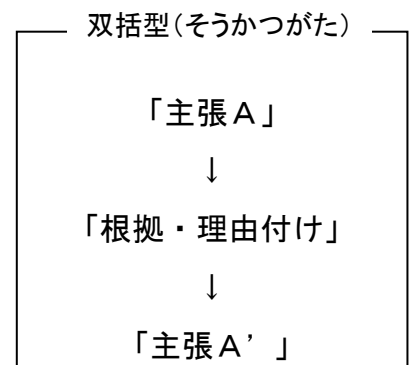
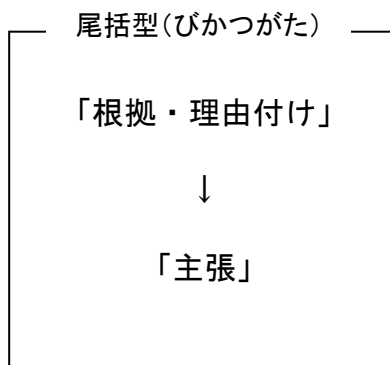
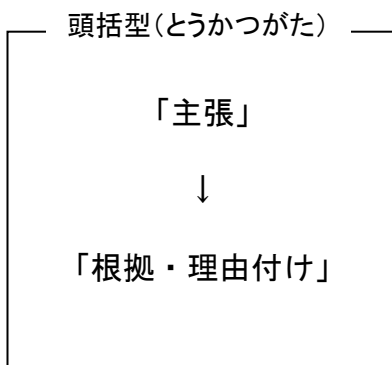
「中」の部分の段落を工夫する。

「中」の説明部分が長い場合は「双括型」にすると、「始め」と「終わり」に主張を述べるため、一貫した論旨になります。



書く前に、「すること」と「自分の提案したいコース」に整合性があるか、確認しましょう。

【意見文を書くときの型】



説得力のある文章を書く力を付ける

文章の比較を通して、読み手の感じ方の違いをとらえる。

知識や経験などの具体的な例を入れた文章と、入れない文章を比較すると、その有効性をはっきりと感ずることができます。

見たり聞いたりしたことも、自分の知識となり、文章に入れることで説得力が増します。

<例文1>

次に子ども池に行きます。ここでは、実際にザリガニを釣ってみます。授業でスルメを糸につけてザリガニを釣った経験があります。ザリガニがスルメをはさみてつかんだ瞬間に糸を引き、見事に釣れたときには、本当にうれしかったことを今でも覚えていています。これを体験してもらえば、小学校の学習が楽しくなると思います。

次に子ども池に行きます。ここでは、実際にザリガニを釣ってみます。これを体験してもらえば、小学校の学習が楽しくなると思います。

「自分の経験」
「〜を経験したことがあります。」
「〜した経験があります。」
などの文型が使えますね。

【知識・体験とは…】
○自分が体験したこと
○人から聞いたこと
○図鑑で見たこと
○インターネットで調べたこと などが様々ありますね。

<例文2>

次に音楽室に行きます。ここでは、幼稚園にはない楽器を見てもらったり、実際に音を出したりしてもらいます。私の姉は音楽クラブに入っていますが、仮入部の時、今まで見たこともなかった楽器にさわらせてもらい、きれいな音が出たときに、とても音楽に興味をもったと聞きました。このように実際にふれてもらうことで興味をもてると思います。

次に音楽室に行きます。ここでは、幼稚園にはない楽器を見てもらったり、実際に音を出したりしてもらいます。このように実際にふれてもらうことで興味をもてると思います。



「自分の知識」
「〜を知っています。」
「〜と聞きました。」
などの文型が使えますね。

左右どちらの文章に説得力があるかな？